

問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	自採 己点
第1問 (25)	A	1	1	3	4
		2	2	4	4
		3	3	3	4
		4	4	3	4
	B	5	5	4	3
		6	6	2	3
		7	7	2	3
自己採点小計					
第2問 (16)	8	8	4	4	
	9	9	2	4	
	10	10	3	4	
	11	11	2	4	
自己採点小計					
第3問 (18)	12	12	2	3	
	13	13	3	3	
	14	14	1	3	
	15	15	1	3	
	16	16	4	3	
自己採点小計					

問題番号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	自採 己点
第4問 (12)	A	18	18	4	4*
		19	19	1	
		20	20	2	
		21	21	3	
		22	22	4	1
	B	23	23	2	1
		24	24	1	1
		25	25	1	1
		26	26	2	4
		自己採点小計			
第5問 (15)	27	27	2	3*	
	28	28	4		
	29	29	3	4*	
	30	30	2		
	31	31	2		
	32	32	3		4
33	33	4	4		
自己採点小計					
第6問 (14)	A	34	34	1	3
		35	35	4	3
	B	36	36	2	4
		37	37	2	4
自己採点小計					

自己採点合計

(注)

\*は、全部正解の場合のみ点を与える。

## 第1問

A  
出題のねらい

短い英文を聞き、その趣旨を把握する力をみる。

問1 1

【放送内容と選択肢】

I'm not good at speaking German. Nor is John.

- ① 話者もジョンもドイツ語を流暢に話せる。
- ② ジョンは話者よりも流暢にドイツ語を話せる。
- ③ 話者もジョンもドイツ語を流暢に話せない。
- ④ 話者はジョンよりもドイツ語が流暢に話せる。

正解 ⇒ ③

放送された英文は、「私はドイツ語を話すのが上手ではない。ジョンも同様だ」という意味である。「話者もジョンもドイツ語を話すのが上手ではない」ということであるから、正解は③である。

【語句・表現】

- ・nor + (助)動詞 + S 「Sもまた…しない」
- 〈選択肢〉
- ・fluently 「流暢に」
- ・neither A nor B 「AもBも…ない」

問2 2

【放送内容と選択肢】

If I hadn't studied harder, I wouldn't be a university student now.

- ① 話者は一生懸命勉強しなかったが、今は大学生である。
- ② 話者は一生懸命勉強したが、今は大学生ではない。
- ③ 話者は一生懸命勉強しなかったため、今は大学生ではない。
- ④ 話者は一生懸命勉強したので、今は大学生である。

正解 ⇒ ④

放送された英文は、「もし一生懸命に勉強していなかったら、私は今大学生ではないだろう」という意味である。従属節は仮定法過去完了、主節は仮定法過去が用いられている。実際には、「一生懸命に勉強した結果、今は大学生である」ということであるから、正解は④である。

問3 3

【放送内容と選択肢】

The moment I got home, Julie called me on my cellphone.

- ① 話者は帰宅するとすぐに、ジュリーに電話をした。
- ② 話者は帰宅する直前に、ジュリーに電話をした。
- ③ 話者が帰宅するとすぐに、ジュリーから電話があった。
- ④ 話者が帰宅する直前に、ジュリーから電話があった。

正解 ⇒ ③

放送された英文は、「私が帰宅するとすぐに、ジュリーが携帯電話に電話をかけてきた」という意味である。話者が帰宅した「直後」にジュリーが電話をしてきたという内容であるから、③が正解となる。

【語句・表現】

- ・the moment ... 「…するとすぐに」

問4 4

【放送内容と選択肢】

I searched for my lost key, but it was nowhere to be found.

- ① 話者は紛失した鍵を見つけ、二度となくすことはなかった。
- ② 話者は紛失した鍵を見つけたが、再びなくしてしまった。
- ③ 話者は鍵を紛失し、見つけることができなかった。
- ④ 話者は鍵を紛失したが、何とか見つけた。

ることができた。

正解 ⇒ ③

放送された英文は、「私はなくした鍵を捜したが、どこにも見つからなかった」という意味である。nowhere to be found 「どこにも見つからない」の表現がポイントである。したがって、③が正解となる。

【語句・表現】

- ・search for ~ 「(物など)を捜し求める」
- ・nowhere 「どこにも～ない」
- 〈選択肢〉
- ・manage to do 「何とか～する」

B

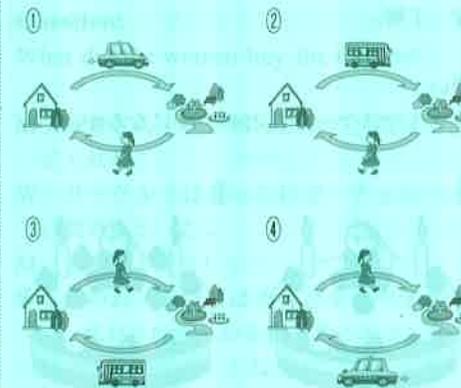
出題のねらい

短い英文を聞き、その内容に合致するイラストを選ぶことによって、発話の内容を理解する力をみる。

問5 5

【放送内容と選択肢】

My mother returned home from the park by taxi though she went there on foot.



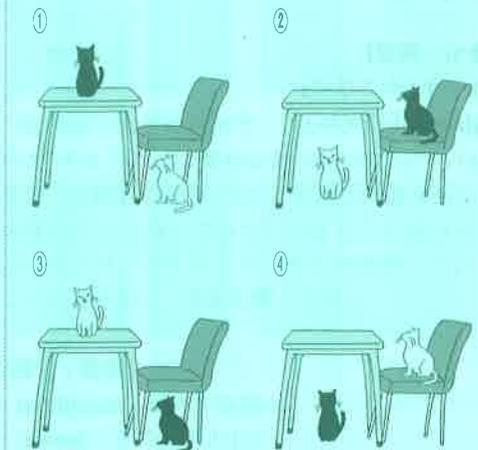
正解 ⇒ ④

放送された英文は、「母は徒歩で公園まで行ったが、タクシーで帰宅した」という意味である。「家→公園」は徒歩で、「公園→家」はタクシーで移動したということであるから、④が正解となる。

問6 6

【放送内容と選択肢】

The black cat is on the chair and the white one is under the table.



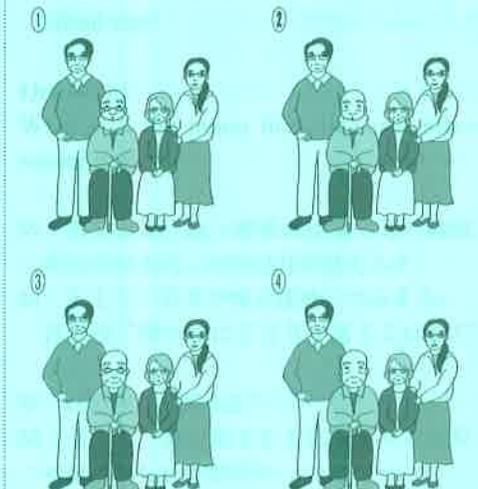
正解 ⇒ ②

放送された英文は、「黒ネコはイスの上に、白ネコはテーブルの下にいる」という意味である。この内容に一致するのは②である。

問7 7

【放送内容と選択肢】

My grandfather has a beard, and he's the only one in my family who doesn't wear glasses.



正解 ⇒ ②

放送された英文は、「私の祖父はあごひげを生やしており、家族の中で唯一めがねをかけていない」という意味である。この内容に一致するのは②である。

## 【語句・表現】

- ・ beard 「あごひげ」
- ・ glasses 「めがね」

## 第2問

## 出題のねらい

場面の情報を参考にしながら短い対話を聞き、必要な情報を把握する力をみる。

問8 8

## 【放送内容と選択肢】

M: I'd like to put something in the middle of the cake. Last year it was Santa Claus, so how about a snowman this year?

W: Sounds good. And what about around the cake? Candles?

M: Well, yes, two candles and three times as many strawberries.

W: All right.

## Question:

What will the Christmas cake look like?

M: ケーキの真ん中に何かを置きたいな。去年はサンタクロースだったから、今年は雪だるまはどう？

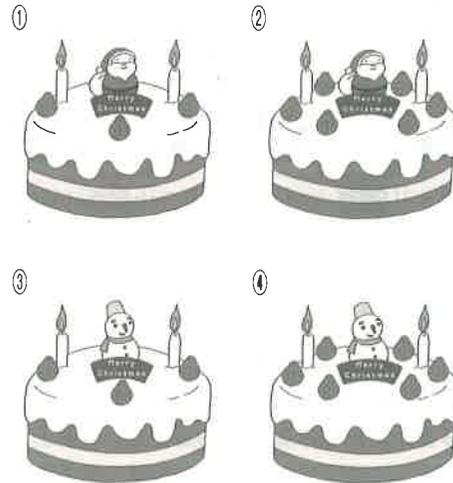
W: いいね。あと、ケーキの周りはどうする？ キャンドルを立てる？

M: そうだね、キャンドルは2本、イチゴはその3倍の数にしよう。

W: 了解。

問い:

クリスマスケーキはどのようになるか。



正解 ⇒ ④

「真ん中に何かを置きたいな」「雪だるまはどう？」と提案する男性に対し、女性が「いいね」と応じていることから、真ん中に置かれるのは雪だるまになる。さらに、男性が「キャンドルは2本、イチゴはその3倍の数にしよう」と提案し、女性が賛成していることから、キャンドルは「2本」、イチゴは「6個」になる。よって、④が正解である。

## 【語句・表現】

- ・ in the middle of ~ 「～の真ん中に」
- ・ snowman 「雪だるま」
- ・ three times as many ~ (as ...) 「(…の)3倍の～」

問9 9

## 【放送内容と選択肢】

M: Mom, did you buy what I asked you to?

W: I bought yogurt, but I didn't buy chocolate bars.

M: Oh, no! Why?

W: Well, you're eating too much chocolate. I bought some toothpaste instead. You must brush your teeth more.

## Question:

What did the woman buy for the boy?

M: お母さん、僕が頼んだもの、買ってきてくれた？

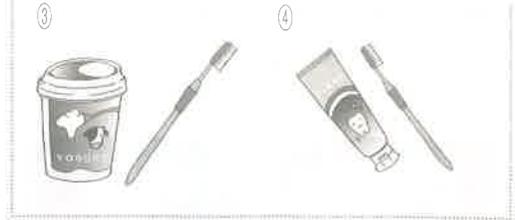
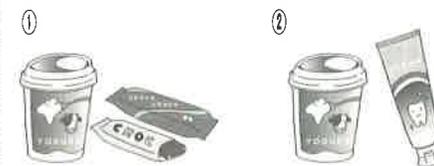
W: ヨーグルトは買ったけど、チョコバーは買わなかったよ。

M: ええ！ どうして？

W: あのね、あなたはチョコを食べすぎなの。代わりに歯みがき粉を買ったよ。もっと歯をみがかないとね。

問い:

女性は男の子に何を買ってあげたか。



正解 ⇒ ②

女性は1回目の発言で、「ヨーグルトは買ったけど、チョコバーは買わなかった」と述べている。また、2回目の発言では、「代わりに歯みがき粉を買った」と言っている。つまり、女性を買ったのは「ヨーグルト」と「歯みがき粉」ということになるから、②が正解となる。

## 【語句・表現】

- ・ toothpaste 「歯みがき粉」
- ・ instead 「その代わりに」
- ・ teeth : tooth 「歯」の複数形。

問10 10

## 【放送内容と選択肢】

W: Dad, I'm studying the moon in my science class. Can we see the moon tonight?

M: Hmm ... Let me check the weather forecast ... You can see the crescent moon in the western sky just after sunset.

W: Will we see it clearly?

M: Well, there will be some clouds so I'm afraid not.

## Question:

What will the moon look like just after sunset today?

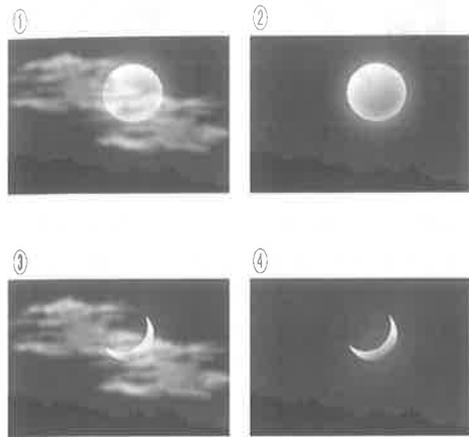
W: お父さん、私、理科の授業で月の勉強をしているの。今夜は月が見える？

M: ええと…天気予報を確認してみよう…。日没後、西の空に三日月が見えるはずだよ。

W: はっきりと見える？

M: うーん、雲があるからはっきりとは見えないかもしれない。

問い：  
今日の日没直後の月はどのように見えるか。



正解 ⇒ ③

「今夜は月が見える？」と尋ねる娘に対し、父親は「三日月が見えるはずだよ」と答えている。続けて、娘が「はっきりと見える？」と聞くと、父親は「雲がある」と述べた上で I'm afraid not. 「残念ながらそうではない」と言っている。つまり、「はっきりとは見えないかもしれない」ということであるから、正解は③になる。

【語句・表現】

- ・ weather forecast 「天気予報」
- ・ crescent moon 「三日月」
- ・ sunset 「日没」

問11 11

【放送内容と選択肢】

M: Excuse me. I'm looking for the police station.  
W: Can you see the bookstore at the corner?  
M: The one next to the pharmacy?  
W: Yes. Turn right there and you will see it on your left.

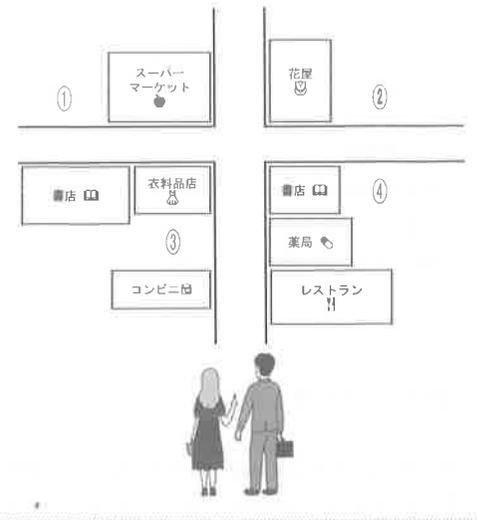
Question:

Where is the police station?

M: すみません。警察署を探しているのですが。

W: 角にある本屋が見えますか。  
M: 薬局の隣の本屋ですか。  
W: そうです。そこを右に出ると、左側に警察署がありますよ。

問い：  
警察署はどこか。



正解 ⇒ ②

警察署の場所を尋ねられた女性は、「角にある本屋」すなわち「薬局の隣の本屋」を指し示している。そして、「そこを右に出ると、左側に警察署があります」と言っていることから、②が正解となる。

【語句・表現】

- ・ police station 「警察署」
- ・ next to ~ 「～の隣に」
- ・ pharmacy 「薬局」

第3問

出題のねらい

場面の情報を参考にしながら短い対話を聞き、必要な情報を把握する力をみる。

問12 12

【放送内容と選択肢】

W: What are you planning to major in at university, Taro? You're good at math and chemistry.  
M: Yeah, but I'm more interested in how our society functions than in natural science.  
W: What are you especially interested in?  
M: I'd like to use statistics and analyze why some countries are wealthy while others aren't.

W: タロウ、大学では何を専攻する予定なの？ あなたは数学と化学が得意だね。  
M: うん、でも僕は自然科学よりも、社会がどのように機能しているかに興味があるんだ。  
W: どんなことに特に興味があるの？  
M: 統計を使って、裕福な国とそうでない国がある原因を分析したいと思っているんだ。

タロウが大学で専攻する可能性が最も高いのは何か。

- ① 化学
- ② 経済学
- ③ 文学
- ④ 数学

正解 ⇒ ②

大学での専攻科目について聞かれた男性(=タロウ)は、1回目の発言で「自然科学よりも、社会がどのように機能しているかに興味がある」と答えている。また、2回目の発言では「統計を使って、裕福な国とそうでない国がある原因を分析したい」と言っている。選択肢のうちこの条件を満たすものは②である。

【語句・表現】

- ・ major in ~ 「～を専攻する」
- ・ chemistry 「化学」
- ・ function 「機能する」
- ・ statistics 「統計」
- ・ analyze 「～を分析する」
- ・ wealthy 「裕福な」

問13 13

【放送内容と選択肢】

M: Hello. A hamburger and an apple pie, please.  
W: Five dollars for the burger and two for the pie. If you order a drink, there is a special set.  
M: How much is the set?  
W: Eight dollars for a hamburger, an apple pie and orange juice, all included.  
M: Hmm ... I'm not very thirsty now, so I don't need a drink.

M: すみません。ハンバーガーを1つとアップルパイを1つください。  
W: ハンバーガーが5ドル、アップルパイが2ドルです。飲み物をご注文いただきますと、お得なセットになりますよ。  
M: そのセットはいくらですか。  
W: ハンバーガーとアップルパイとオレンジジュースが全部で8ドルです。  
M: うーん…今はあまりのどが潤いていないから、飲み物はいらないです。

男性はいくら支払うか。

- ① 2ドル
- ② 5ドル
- ③ 7ドル
- ④ 8ドル

正解 ⇒ ③

ハンバーガー1つとアップルパイ1つを注文した男性(=客)に対し、女性(=店員)は「ハンバーガーが5ドル、アップルパイが2ドルです」と述べている。続けて、女性は飲み物のついたセットメニューを勧めるが、男性は「飲み物はいらないです」と断っている。したがって、

男性が支払う金額は「5ドル+2ドル=7ドル」となるから、正解は③である。

## 【語句・表現】

- ・order「～を注文する」
- ・thirsty「のどが渴いた」

問14 14

## 【放送内容と選択肢】

W: What should we do for John's birthday?  
Last year we went to an amusement park.

M: How about inviting his friends to a home party?

W: Well, we don't have enough time to prepare for that ...

M: Then we could go to a mall and buy him what he wants.

W: Sounds good!

W: ジョンの誕生日には何をしたらいいかな。去年は遊園地に行ったね。

M: 友達をホームパーティーに招待するのはどう?

W: うーん、準備をする時間が足りないよ…。

M: じゃあ、ショッピングモールに行って、ジョンが欲しいものを買ってあげよう。

W: いいね!

ジョンの誕生日に両親は何をするか。

- ① 一緒に買い物に行く
- ② 遊園地に行く
- ③ ホームパーティーを開く
- ④ 息子の友達を夕食に招待する

正解 ⇒ ①

男性(=父親)は1回目の発言で、友達をホームパーティーに招待することを提案するが、女性(=母親)は「準備をする時間が足りない」と難色を示している。そこで、男性が「ショッピングモールに行って、ジョンが欲しいものを買ってあげよう」と別の提案をすると、女性はその考えに賛成している。よって、①が正解である。

## 【語句・表現】

- ・amusement park「遊園地」
- ・mall「ショッピングモール」
- 〈選択肢〉
- ・hold「(パーティーなど)を開く、開催する」

問15 15

## 【放送内容と選択肢】

W: Wow! You've changed your hairstyle so much.

M: Actually, I didn't want to.

W: What do you mean?

M: I went to a different barber's than usual and the barber didn't like my idea!

W: Oh, come on! You look good.

W: わあ! ずいぶんヘアスタイルを変えたね。

M: 本当は変えたくなかったんだ。

W: どういうこと?

M: いつもと違う床屋に行ったんだけど、僕の希望を聞いてくれなかったんだ。

W: でも、いいじゃない! 似合ってるよ。

男性はなぜ機嫌が悪いのか。

- ① 彼は自分のヘアスタイルに満足していない。
- ② 彼の行きつけの床屋が営業していなかった。
- ③ 床屋が清潔ではなかった。
- ④ 女性は男性のヘアスタイルが似合わないと思っている。

正解 ⇒ ①

ヘアスタイルが変わったことに気づいた女性に対し、男性は「本当は変えたくなかった」と答えている。さらに、2回目の発言で「いつもと違う床屋に行ったんだけど、僕の希望を聞いてくれなかった」と述べている。ここから、男性が不機嫌な理由は、自分の希望にそったヘアスタイルにしてもらえなかったからだと思われる。よって、①が正解である。

## 【語句・表現】

- ・barber's「理髪店、床屋」: 主にイギリス英語で用いられる。
- ・barber「理髪師、理容師」
- 〈問い・選択肢〉
- ・in a bad mood「機嫌が悪い、不機嫌で」
- ・be satisfied with ~「～に満足している」
- ・barbershop「理髪店、床屋」: 主にアメリカ英語で用いられる。
- ・clean「清潔な、きれいな」

問16 16

## 【放送内容と選択肢】

W: Let's go on a picnic today, Miguel. It's a beautiful day.

M: Are you sure, Nobuko? The weather forecast says it'll be rainy in the afternoon.

W: Well, I don't mind getting wet. Getting caught in the rain can sometimes be fun!

M: I don't think so. I'll take an umbrella just in case.

W: ミゲル、今日はピクニックに行こうよ。いい天気だし。

M: ノブコ、本気かい? 天気予報によると午後から雨が降るらしいよ。

W: まあ、濡れてもいいよ。雨に降られるのが楽しい時もあるし!

M: 僕はそう思わないな。念のために傘を持っていくよ。

会話によると正しいものはどれか。

- ① ミゲルは傘を2本持っていくつもりである。
- ② ミゲルは雨に濡れるのも楽しいかもしれないと思っている。
- ③ ノブコは雨に濡れたくないと思っている。
- ④ ノブコは雨が降ってもピクニックに行きたいと思っている。

正解 ⇒ ④

「ピクニックに行こう」と提案する女性(=ノブコ)を、男性(=ミゲル)は「天気予報によ

ると午後から雨が降るらしいよ」と言って思いとどまらせようとしている。しかし、女性は「濡れてもいい」「雨に降られるのが楽しい時もある」と言っており、考えを変える様子はない。よって、正解は④である。

## 【語句・表現】

- ・mind doing「～するのをいやに思う、気にする」
- ・just in case「万一のために、一応」
- 〈選択肢〉
- ・even if ...「たとえ…だとしても」

問17 17

## 【放送内容と選択肢】

M: I've decided to stop eating fast food. It's my New Year's resolution.

W: I remember hearing you say that last year.

M: As you say, I couldn't stick to it last year. But this year I have a strong will.

W: I think you'll be saying the same thing next year ... but anyway good luck!

M: ファーストフードを食べるのをやめることにしたんだ。僕の新年の抱負だよ。

W: 去年もあなたがそんなことを言っていたのを覚えているわ。

M: 君が言うように、去年は頑張れなかった。でも今年は強い意志を持っているんだ。

W: 来年も同じことを言っていると思うけど…とにかく頑張ってね!

女性は男性についてどう思っているか。

- ① 彼はファーストフードを食べるのをやめる必要はない。
- ② 彼は昨年、最善を尽くした。
- ③ 彼は意志が弱い。
- ④ 彼は今年、決意を固めるだろう。

正解 ⇒ ③

「ファーストフードを食べるのをやめる」という新年の抱負を述べた男性に対し、女性は「去年もあなたがそんなことを言っていたのを覚えている」「来年も同じことを言っていると思う」

と発言している。ここから女性は、男性は意志が弱いと考えることがうかがえる。したがって、㉑が正解となる。

## 【語句・表現】

- ・ resolution 「決意, 決心」
- ・ remember *doing* 「～したことを覚えている」
- ・ stick to ~ 「(約束など)を守る」
- ・ will 「意志」
- 〈選択肢〉
- ・ do one's best 「最善を尽くす」

## 第4問

A

## 出題のねらい

長めの英文を聞き、イラストを並べ替えたり図表を完成させたりすることによって、英文の内容を理解する力をみる。

問18~21  18  19  20  21

## 【放送内容】

To my surprise, last Monday morning, the doorknob of my apartment came off suddenly. I should have contacted my landlord first of all, but I was so upset that I arranged for a repairperson to come to fix it without notifying him. The repair was done properly and I paid the repair cost. When I called my landlord, however, he refused to compensate me, saying that he wasn't notified in advance. Not satisfied, I consulted a friend of mine who is a lawyer. He told me that my landlord had to pay for the cost, which he later reluctantly agreed to do.

先週の月曜日の朝、驚いたことに、私の住んでいるマンションのドアノブが突然はずれてしまいました。最初に大家さんに連絡するべきでしたが、あまりにもうろたえていたので、彼に知らせずに、修理屋さんに修理に来てもらう手配をしてしまいました。修理は無事に終わり、私は修理代を支払いました。しかし、大家さんに電話をすると、彼は事前に知らされていなかったと言って、補償金の支払いを拒みました。納得がいかず、私は弁護士をしている友人に相談しました。彼は、大家さんには代金を支払う義務があると教えてくれ、後に大家さんは代金を支払うことにしぶしぶ同意してくれました。

## 【語句・表現】

- ・ doorknob 「ドアの取っ手, ドアノブ」
- ・ come off 「(取っ手などが)はずれる, とれる」
- ・ contact 「～と連絡をとる」
- ・ landlord 「大家, 地主」
- ・ upset 「取り乱した, うろたえた」
- ・ arrange for A to do 「A が～するよう手配する」

- ・ repairperson 「修理工」
- ・ fix 「～を修理する, 修繕する」
- ・ notify 「～に知らせる」
- ・ properly 「適切に, きちんと」
- ・ compensate 「～に補償をする」
- ・ in advance 「前もって, あらかじめ」
- ・ consult 「～に相談する, 意見を求める」
- ・ lawyer 「弁護士」
- ・ reluctantly 「いやいやながら, しぶしぶ」

正解 ⇒  18  ④  19  ①  
 20  ②  21  ③

まず、第1文で「私の住んでいるマンションのドアノブが突然はずれてしまいました」と述べられているので、 18 には④が入る。次に、第2文・第3文で「修理屋さんに修理に来てもらう手配をしてしまいました」「修理は無事に終わり、私は修理代を支払いました」と述べられていることから、 19 には①が入る。さらに、第5文に「私は弁護士をしている友人に相談しました」とあることから、 20 には②が入る。そして、最終文に「大家さんは代金を支払うことにしぶしぶ同意してくれました」とあるので、 21 には③を入れるのが適切である。

問22~25  22  23  24  25

## 【放送内容】

We are supposed to put these books on the designated bookshelves. First, books for children should be placed on Bookshelf 1, regardless of their genre. With books for adults, nonfiction should go to Bookshelf 2, 3, or 4. Science books go to Bookshelf 2. Those related to politics and economy go to Bookshelf 3, and biographies go to Bookshelf 4. Lastly, all fiction books for adults should go to Bookshelf 5.

私たちはこれらの本を、指定された書架に配置する必要があります。まず、子ども向けの本は、ジャンルにかかわらず「書架1」に配置します。大人向けの本に関しては、ノンフィクションは「書架2」「書架3」「書架4」に並べます。科学書は「書架2」に配置します。政治や経済に関連した本は「書架3」、伝記は「書架4」です。最後に、大人

向けのフィクションはすべて「書架5」に並べます。

## 【語句・表現】

- ・ be supposed to *do* 「～することになっている, ～しなければならない」
- ・ designated 「指定の」
- ・ bookshelf 「本棚」
- ・ regardless of ~ 「～にかかわらず, ～に関係なく」
- ・ genre 「ジャンル, 種類」
- ・ related to ~ 「～と関係のある, ～と関連した」
- ・ politics 「政治」
- ・ biography 「伝記」
- 〈表〉
- ・ purchase 「～を買う, 購入する」
- ・ universe 「宇宙」
- ・ kitten 「子ネコ」
- ・ ant 「アリ」
- ・ firefighter 「消防隊員, 消防士」

## 【表】

図書番号	ジャンル	書名	書架番号
001	大人向け/ ノンフィクション	ベープ・ルース の生涯: 偉人伝	<input type="checkbox"/> 22
002	大人向け/ ノンフィクション	ビッグバン: 宇宙 はどのように 誕生したか	<input type="checkbox"/> 23
003	子ども向け/ フィクション	子ネコのタマの 冒険	<input type="checkbox"/> 24
004	子ども向け/ ノンフィクション	おもしろいアリ の世界	<input type="checkbox"/> 25
005	子ども向け/ ノンフィクション	消防士の仕事	

正解 ⇒  22  ④  23  ②  
 24  ①  25  ①

まず、第2文で「子ども向けの本は、ジャンルにかかわらず『書架1』に配置します」と述べられているので、 24 ・  25 には①が入る。

次に、第3文で「大人向けの本に関しては、ノンフィクションは『書架2』『書架3』『書架4』に並べます」、第4文で「科学書は『書架2』に配置します」と述べられていることから、 23 は②が正解となる。また、第5文後半に「伝記は『書架4』です」とあるので、 22 は④が正解となる。

B

## 出題のねらい

複数人の発言を聞き、提示された条件に合致するものを選ぶことによって、必要な情報を聞き取る力をみる。

問26 26

## 【放送内容】

1. Hamaya Music Academy has a good reputation. They provide private piano lessons by experienced instructors. You can take a trial lesson for 1,000 yen. Saturday morning lessons and Sunday afternoon lessons are available.
2. I'd recommend Nakagawa Piano Academy. There are openings for group lessons starting at 3:00 p.m. on Wednesdays and private lessons starting at 1:00 p.m. on Sundays. You can try a free lesson before enrolment.
3. How about Precious Music School? You can enjoy learning to play the piano in group lessons with a maximum of six students. Enrollment is now open for lessons beginning at 1:00 p.m. on Sundays. Please apply for a free trial lesson first.
4. Tricky Piano School is excellent! Lessons are given on a grand piano. You can enrol in private lessons on Sunday morning and Monday afternoon. First, enjoy a trial lesson free of charge!

1. ハマヤ・ミュージックアカデミーは評判が良いです。経験豊富な講師によるピアノの個人レッスンを受けられます。1,000円で体験レッスンを受講できます。土曜日の午前中と日曜日の午後のレッスンは入会可能です。
2. ナカガワ・ピアノアカデミーをお勧めします。水曜日の午後3時に始まるグループレッスンと、日曜日の午後1時に始まる個人レッスンは空きがあります。入会前に無料体験レッスンを受けることができます。

3. プレシャス・ミュージックスクールはいかがですか。定員6名のグループレッスンで、楽しくピアノの演奏を学ぶことができます。日曜日の午後1時に始まるレッスンは入会受付中です。まずは無料体験レッスンをお申し込みください。

4. トリッキー・ピアノスクールはすばらしいです！ グランドピアノでレッスンを受けることができます。日曜日の午前中と月曜日の午後の個人レッスンは入会受付中です。まずは無料体験レッスンを受講してください！

## 【語句・表現】

〈ハマヤ・ミュージックアカデミー〉

・reputation 「評判」

・instructor 「講師、指導者」

・trial lesson 「体験レッスン」

・available 「利用可能」

〈ナカガワ・ピアノアカデミー〉

・recommend 「～を推薦する」

・opening 「欠員、空き」

・enrolment 「入会、登録」：主にイギリス英語で用いられる綴り。アメリカ英語では enrollment と綴ることが多い。

〈プレシャス・ミュージックスクール〉

・a maximum of ～ 「最大で～」

・apply for ～ 「～を申し込む」

〈トリッキー・ピアノスクール〉

・enrol in ～ 「～に入会する、登録する」：enrol は主にイギリス英語で用いられる綴り。アメリカ英語では enroll と綴ることが多い。

・free of charge 「無料で」

正解 ⇒ ②

3つの条件をすべて満たすのは、②の「ナカガワ・ピアノアカデミー」である。①は、第3文で「1,000円で体験レッスンを受講できます」と述べられており、条件Aに合わない。③は、第2文に「定員6名のグループレッスンで、楽しくピアノを学ぶことができます」とあることから、条件Bを満たさない。④は、第3文で「日曜日の午前中と月曜日の午後の個人レッスンは入会受付中です」と述べられており、条件Cに合わない。

## 第5問

## 出題のねらい

長めの英文を聞き、概要や要点を把握する力、および、聞き取った情報と図表から読み取れる情報にもとづいて判断する力をみる。

## 【放送内容】

問27～問32

Almost 60 percent of British people drink tea every day, with 11 percent drinking more than five cups a day. About a quarter of British people add sugar to their drink and nearly 80 percent take it with milk.

But it is a subject that has proved bitterly divisive for a long time: how best to make a cup of tea. As George Orwell suggested in his 1946 essay on the subject: "The best manner of making it is the subject of violent disputes." But one survey claims to have settled the debate once and for all, siding with Orwell and the firm conclusion that the milk should always be added last.

The survey confirms the nation's final position on the issue, with almost 80 percent insisting that the correct procedure is water over the teabag first, followed by a drop of milk. Habits differ according to age, with the older people the more likely to add milk first.

British people drink 165 million cups of tea every day, more than 60 billion a year. The specific manner in which a cup of tea is made once had strong class associations. In the days when only the most expensive cups would not crack when boiling water was poured into them, the less wealthy cooled their hot drinks by pouring their milk in first. Today, such concerns are of little importance, and the survey suggests that both the middle- and working-class people are similarly split, with some 80 percent of each preferring to add their milk last.

イギリス人のうち約60%の人々が毎日紅茶を飲んでおり、11%の人々は1日に5杯以上

飲んでいますが。イギリス人のうちおよそ4分の1が紅茶に砂糖を入れ、約80%がミルクを入れて飲んでいますが。

しかし、紅茶の一番おいしい入れ方は、長年にわたって賛否が大きく分かれてきたテーマです。ジョージ・オーウェルがこのテーマについて、1946年のエッセイで示唆しているように、「紅茶の最もおいしい入れ方は激しい論争のテーマになっています」。しかし、ある調査によって、この論争には完全に決着がついており、オーウェルの主張どおり、ミルクは必ず最後に入れるべきであるという結論が確立しています。

国民の約80%は、まずティーバッグにお湯を注ぎ、次にミルクを少量加えるのが正しい手順だと主張しており、この調査によって、この問題に関する国民の最終的な判断を確認することができました。年齢によって習慣は異なっており、高齢になるほどミルクを先に入れる傾向があります。

イギリス人は毎日1億6500万杯の紅茶を飲んでおり、年間で600億杯以上飲んでいることとなります。紅茶を入れる特定の手順は、かつては階級と強い結びつきがありました。熱湯を注いでも割れないのは最高級のカップだけであった時代に、あまり裕福でない人々は最初にミルクを注いで熱い飲み物を冷ましていました。今日ではそのような気遣いはあまり重要ではなく、調査によると、中産階級の人々も労働者階級の人々も意見の分かれ方は同様で、どちらの階級の人々も約80%はミルクを最後に加えるのを好むという結果が示されています。

問33

The strength of the perfect tea has proved an equally controversial subject and the survey suggests that most prefer it relatively strong. On an eight-point color scale, ranging from a dark milk-less brown to a pale light brown color, almost 50 percent chose the fifth strongest, a mid-brown, with another one-fifth going for the slightly stronger and darker color.

最適な紅茶の濃さも同様に議論を呼ぶテーマでしたが、調査によると、大多数の人々は比較的濃い目を好むことが示されています。

ミルクを加えないダークブラウンから淡いライトブラウンまでの8段階のカラースケールで、約50%の人々が5番目に濃いミッドブラウンを選び、5分の1の人々はそれよりもやや濃い目で色も濃いものを選んだのです。

【出典】© Victoria Ward / Telegraph Media Group Limited 2018

※問題作成の都合上、一部原文を改変しています。

【語句・表現】

問27～問32

〈第1段落〉

・ quarter 「4分の1」

・ nearly 「ほとんど、だいたい」

〈第2段落〉

・ subject 「話題、テーマ」

・ bitterly 「激しく、ひどく」

・ divisive 「対立させる」

・ violent 「(議論などが)激しい」

・ dispute 「論争、議論」

・ settle 「～を解決する、～の決着をつける」

・ once and for all 「これを最後に、きっぱりと」

・ side with ～ 「～の側につく」

・ firm 「(結論などが)かたい、揺るぎない」

〈第3段落〉

・ confirm 「～を確かめる、確認する」

・ position 「判断、意見」

・ correct 「正しい、適切な」

・ procedure 「手順、やり方」

・ a drop of ～ 「少量の～」

・ according to ～ 「～に応じて、～次第で」

〈第4段落〉

・ billion 「10億」

・ specific 「特定の」

・ manner 「やり方、方法」

・ class 「階級」

・ association 「関連性」

・ crack 「ひびが入る、割れる」

・ boiling water 「熱湯」

・ pour 「～を注ぐ」

・ concern 「心配、配慮」

・ of little importance 「ほとんど重要でない」

・ split 「意見が割れて」

問33

・ strength 「濃度」

・ controversial 「論争を引き起こす」

・ relatively 「比較的」

・ scale 「スケール、段階」

・ range from A to B 「AからBに及ぶ」

・ pale 「淡色の」

・ go for ～ 「～を好む」

・ slightly 「わずかに」

【ワークシート】

紅茶とイギリス人

○イギリス人の紅茶に関する習慣

⇒イギリス人の約60%は毎日紅茶を飲んでいる。

イギリス人の約	27	%は	⇒紅茶に砂糖を加える。
イギリス人の約	28	%は	⇒紅茶にミルクを加える。

○好まれる紅茶の入れ方

- ・多くのイギリス人は 29
- ・高齢のイギリス人は 30 傾向がある。
- ・かつて、あまり裕福でないイギリスの人々は 31 のが常であった。

問27・28 27 28

- ① 11
- ② 25
- ③ 60
- ④ 80

正解 ⇒ 27 ② 28 ④

第1段落第2文の前半では、「イギリスのうちおよそ4分の1が紅茶に砂糖を入れ…」と述べられている。「4分の1 = 25%」であるから、27には②が入る。また、後半で「約80%がミルクを入れて飲んでいます」と述べられていることから、28には④を入れるのが適切である。

問29～31 29 30 31

- ① 熱湯とミルクを同時に入れる
- ② ミルクを最初に入れる
- ③ ミルクを最後に入れる
- ④ ミルクを入れない

正解 ⇒ 29 ③ 30 ②  
31 ②

29

第3段落第1文では、「国民の約80%は、まずティーバッグにお湯を注ぎ、次にミルクを少量加えるのが正しい手順だと主張しており…」と述べられている。よって、③が適切である。

30

第3段落第2文では、「年齢によって習慣は異なっており、高齢になるほどミルクを先に入れる傾向があります」と述べられている。したがって、②を入れるのが適切である。

31

第4段落第3文では、「熱湯を注いでも割れないのは最高級のカップだけであった時代に、あまり裕福でない人々は最初にミルクを注いで熱い飲み物を冷ましていました」と述べられている。よって、正解は②である。

問32 32

- ① 紅茶が上流階級の人々だけのものであるかどうかについて、イギリス人はいまだに議論している。
- ② ジョージ・オーウェルは、紅茶に最初にミルクを入れるイギリス人が増えるだろうという正確な予測をした。
- ③ 紅茶にミルクを最初に入れるか最後に入れるかについて、以前よりイギリス人の間で意見が一致するようになっている。
- ④ 裕福なイギリス人ほど紅茶に最後にミルクを入れるのを好むという点で、階級間格差は依然として存在している。

正解 ⇒ ③

第4段落最終文で、「調査によると、中産階級の人々も労働者階級の人々も意見の分かれ方は同様で、どちらの階級の人々も約80%はミルクを最後に加えるのを好むという結果が示されています」と述べられている。したがって、この内容と一致する③が正解である。

【語句・表現】

・ upper 「上級の、上流の」

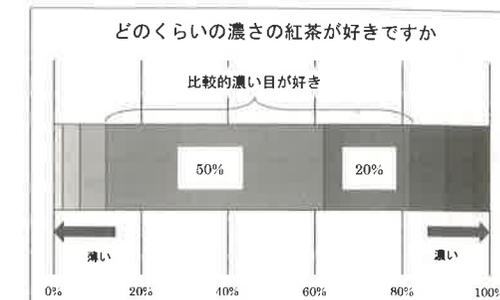
・ rightly 「正確に、正しく」

・ predict ... 「…ということを予測する」

・ division 「(社会・経済的な)格差」

問33 33

【グラフ】



- ① イギリス人は一般的にミルクを最初に入れたマイルドな紅茶を好む。
- ② 紅茶よりコーヒーを好むイギリス人が増えているのは、紅茶が階級間格差に関係しているからである。
- ③ イギリス人の中では、紅茶の最適な入れ方は年齢や階級によって異なる。
- ④ 紅茶の最適な入れ方に関して、イギリス人の好みの違いは小さくなってきている。

正解 ⇒ ④

前半の講義では、「紅茶を入れる手順」について、イギリス人の大多数は意見が一致していることが述べられている。また、「講義の続き」では「紅茶の濃さ」が話題となっており、第1文では「調査によると、大多数の人々は比較的濃い目を好むことが示されています」と述べられている。示されたグラフからも同様のことが読み取れる。つまり、「紅茶を入れる手順」も「紅茶の濃さ」もイギリス人の中では好みが一化してきていると言えるので、④が正解となる。

【語句・表現】

・ the latter 「(二者のうちの)後者」

・ be associated with ～ 「～と関連している、結びついている」

・ preference 「好み」

・ regarding 「～に関して」

## 第6問

A

## 出題のねらい

長めの対話を聞き、必要な情報を把握する力、および、それらの情報を総合して要点を整理・判断する力をみる。

## 【放送内容】

Mike: Voter turnout in Japan seems very low.

Nozomi: That's right. I'm concerned about the low voter turnout among young people, especially those in their twenties.

Mike: In my country, Australia, voting is compulsory. In fact, there are many countries that make voting compulsory.

Nozomi: What happens if you don't vote?

Mike: You'll be fined. In Australia, fines are strictly applied, and thanks to it, voter turnout in Australia is about 90 percent.

Nozomi: But I think voting is a right, not an obligation.

Mike: Well, I disagree. I think voting is the responsibility of the citizens, not just their right. But of course, it's up to Japanese people whether to make voting compulsory.

Nozomi: But if we force people who are not interested in politics to vote, can we call it the will of the people? I think it is more important to make voting enjoyable for people.

Mike: I agree. In Australia, polling places are set up with food stalls and people can enjoy themselves. By the way, are you going to the upcoming mayoral election?

Nozomi: Of course. My father is running for mayor!

マイク：日本の投票率はすごく低いみたいだね。

ノゾミ：そうだね。若い人、特に20代の人投票率が低いのが気になるよ。

マイク：僕の出身国のオーストラリアでは、投票が義務づけられているんだ。実は、投票を義務づけている国はたくさんあるよ。

ノゾミ：投票しないとどうなるの？

マイク：罰金を科されるね。オーストラリアでは罰金は厳しく適用されていて、そのおかげで、オーストラリアの投票率は約90%なんだ。

ノゾミ：でも、投票は権利であって義務ではないと思うな。

マイク：うーん、僕はそう思わない。投票は国民の責任であって、単なる権利ではないと思う。でも、もちろん、投票を義務にするかどうかは日本人の考え次第だね。

ノゾミ：でも、政治に興味のない人に投票を強制したら、それは民意と言えるのかな？ それよりも、国民が投票を楽しみと思えるようにすることが大切だと思う。

マイク：同意だよ。オーストラリアでは、投票所に食べ物の屋台が設置されて、人々が楽しめるようになっているんだ。ところで、今度の市長選には行く？

ノゾミ：もちろん。私の父が市長に立候補しているんだ！

## 【語句・表現】

- ・ voter 「投票者、有権者」
- ・ turnout 「投票者数、投票率」
- ・ be concerned about ～ 「～について心配している」
- ・ compulsory 「義務的な、強制的な」
- ・ in fact 「実際に、実のところ」
- ・ fine 「～に罰金を科す」「罰金」
- ・ strictly 「厳しく、厳格に」
- ・ apply 「～を適用する」
- ・ obligation 「義務」
- ・ responsibility 「責任、義務」
- ・ citizen 「国民、市民」
- ・ be up to ～ 「～次第である」
- ・ force O to do 「Oに～することを強制する」
- ・ polling place 「投票所」
- ・ stall 「露店、屋台」
- ・ upcoming 「近く起こる、来るべき」
- ・ mayoral 「市長の」
- ・ election 「選挙」

・ run for ～ 「～に立候補する、出馬する」

・ mayor 「市長」

問34 34

マイクの発言の要点は何か。

- ① オーストラリアは人々に投票を促すために、効果的な措置を講じている。
- ② 多くの国では、投票しないことに対する罰金の適用は厳格には行われていない。
- ③ 日本は一刻も早く投票を義務とすべきである。
- ④ 投票は国民の権利であり、強制されるべきではない。

正解 ⇒ ①

マイクは3回目の発言で、「(投票しないと)罰金を科される」「罰金は厳しく適用されていて、そのおかげで、オーストラリアの投票率は約90%」と述べている。また、5回目の発言では、「投票所に食べ物の屋台が設置されて、人々が楽しめるようになっている」と説明している。「罰金」も「食べ物の屋台」も国民の投票を促すことを目的とした措置であるから、正解は①となる。

## 【語句・表現】

- ・ effective 「効果的な、有効な」
- ・ measure 「対策、措置」
- ・ encourage O to do 「Oに～するように促す」

問35 35

ノゾミは投票についてどのように考えているか。

- ① 投票率が低ければ、その投票結果は民意とは言えない。
- ② 罰金ではなく、電子投票システムを導入すべきである。
- ③ 罰金によって人々が投票に行くようになるかどうかは疑わしい。
- ④ 投票は人々が自発的に行うものであるべきだ。

正解 ⇒ ④

ノゾミは3回目の発言で、「投票は権利であって義務ではないと思う」と言っている。また、

4回目の発言では、「政治に興味のない人に投票を強制したら、それは民意と言えるのかな？それよりも、国民が投票を楽しみと思えるようにすることが大切だと思う」と述べている。つまり、「投票は強制されるべきものではない」というのがノゾミの考え方であるから、④が正解となる。

## 【語句・表現】

- ・ electronic 「電子の、電子的な」
- ・ introduce 「～を導入する、取り入れる」
- ・ doubtful 「疑わしい、はっきりしない」
- ・ voluntarily 「自発的に、自分の意志で」

B

## 出題のねらい

複数人の発言を聞き、必要な情報を把握する力、および、それぞれの意見の要点を整理・判断する力をみる。

## 【放送内容】

Minami: Hi, Joe. A new convenience store opened near our university yesterday.

Joe: Hi, Minami. I know. But it isn't open 24 hours, and it closes at 9 p.m. What do you think about that, Sophie?

Sophie: That's inconvenient. When I study late and I'm too tired to cook, I often buy a boxed lunch at a convenience store. Tom, you are a big fan of Japanese convenience stores, aren't you?

Tom: Yes, I am! I think convenience stores should be open 24 hours a day because they contribute to local safety by being open all night. What do you think, Minami?

Minami: Well, I'm against 24-hour businesses. This is because with global warming becoming an issue, we should conserve energy as much as possible.

Joe: I agree with Minami. Not only environmental issues, but also the health care of employees who work at night must be taken into consideration.

Sophie: But the pay is better at night, and some students are even willing to work

part-time at night in convenience stores to pay their tuition.

Tom: I agree. In addition, many people are working at night, not just people like Sophie who study late at night. We need to consider the lives of these people. Anyway, why don't we all go to the new convenience store now?

ミナミ: やあ, ジョー。昨日私たちの大学の近くに, 新しいコンビニがオープンしたよ。

ジョー: やあ, ミナミ。知ってるよ。でも24時間営業じゃなくて, 午後9時に閉店するんだ。ソフィー, それについてどう思う?

ソフィー: それは不便だな。遅くまで勉強して, 疲れて料理ができない時は, コンビニでよくお弁当を買うんだ。トム, あなたは日本のコンビニが大好きでしょう?

トム: そうだよ! コンビニは1日24時間営業をするべきだと思う。一晩中営業していることで, 地域の安全に貢献しているからね。ミナミ, きみはどう思う?

ミナミ: うーん, 私は24時間営業には反対だな。地球温暖化が問題になっていて, できるだけエネルギーを節約するべきだから。

ジョー: 僕もミナミの言うとおりに思う。環境問題だけでなく, 夜間に働く従業員の健康管理も考慮しなければならないね。

ソフィー: でも, 夜間の方がお給料がいいから, 学費を払うためにコンビニで夜間にアルバイトをしたいと思う学生もいるよ。

トム: 僕もそう思う。それに, ソフィーのように夜遅くまで勉強する人だけでなく, 夜間に仕事をしている人もたくさんいるんだ。こういう人たちの生活も考慮する必要があるね。それはともかく, みんなで新しいコンビニに行ってみようよ。

【語句・表現】

- ・inconvenient 「不便な」
- ・boxed 「箱入りの」

- ・contribute to ~ 「～に貢献する, 寄与する」
- ・against 「～に反対して」
- ・global warming 「地球温暖化」
- ・conserve 「(エネルギーなどを)節約する, 大切に使う」
- ・environmental 「環境の」
- ・health care 「健康管理」
- ・take O into consideration 「Oを考慮に入れる」
- ・be willing to do 「～する意志がある, 進んで～する」
- ・work part-time 「パートタイムで働く, アルバイトをする」
- ・tuition 「授業料」

問36 36

- ① 1人
- ② 2人
- ③ 3人
- ④ 4人

・正解 ⇒ ②

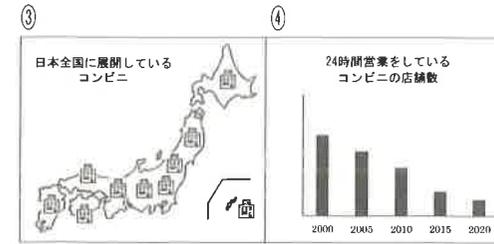
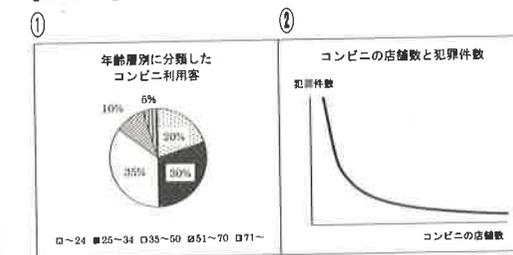
ミナミは2回目の発言で, 「私は24時間営業には反対だ」と述べている。その直後に, ジョーは「僕もミナミの言うとおりに思う」と言っており, やはり反対の立場であることがわかる。

これに対して, ソフィーは1回目の発言で「それ(=午後9時に閉店すること)は不便だ」, 2回目の発言で「コンビニで夜間にアルバイトをしたいと思う学生もいる」と述べており, 24時間営業に賛成の立場である。また, トムは1回目の発言で「コンビニは1日24時間営業をするべきだと思う」と述べている。

以上より「反対している」のはミナミとジョーの2人なので, 正解は②となる。

問37 37

【グラフ】



正解 ⇒ ②

トムは1回目の発言で, 「コンビニは1日24時間営業をするべきだと思う。一晩中営業していることで, 地域の安全に貢献している」と述べている。②のグラフは, 「コンビニの店舗数」と「犯罪件数」の関係を示したものであり, コンビニの店舗数が多ければ多いほど犯罪件数が少ないことが読み取れる。よって, これが正解となる。

【語句・表現】

- ・shopper 「買い物客」
- ・crime 「犯罪」
- ・all over ~ 「～のいたる所で」